

環境大レポート

第35号

Sept. 2020

K A N K Y O D A I R E P O R T



特集

第61次 南極地域観測隊 調査レポート

2 3

人事報告

着任挨拶

4

研究紹介

生態系の基盤をなす植物たちの世界鳥取の豊かな自然環境をフィールドに
多様な生物間相互作用を解き明かす 環境学部 笠木 哲也 准教授
時代の変わり目は研究を始めるチャンスです 経営学部 相川 泰 准教授

5

キャンパストピックス

学生に聞いてみました!

6

就職支援

2019年度卒業生 就職・進学情報 就職支援

7

国際交流

語学留学プログラムについて紹介

8

クラブ&サークル活動

新型コロナウイルス感染症への対応

TUES FUTSALCLUB部・まちあそび部 / 新型コロナウイルス感染症への対応

9

プロジェクト研究

不法投票「事件」を検証する

10

キャンパスニュース

TUESレポートより

11

お知らせ

PRコーナー / 主なスケジュール 2020年9月から2021年3月まで

12

第61次 南極地域観測隊 調査レポート

本学環境学部の徳田悠希講師が第61次南極地域観測隊に参加しました。
徳田講師に南極での生活や調査の様子について話を聞きました。

環境学部
徳田 悠希 講師

プロフィール

【専門】地質学 古生物学
大阪市立大学理学部地球学科を卒業後、同大学大学院に進学し、理学博士を取得。鳥取県立博物館学芸員、主任学芸員を経て、2016年より公立鳥取環境大学環境学部講師に就任。



南極地域観測事業は、1955年の閣議決定にもとづき、国の事業として実施されています。1957年に第1次南極地域観測隊が昭和基地を開設して以来、現在に至るまで60年以上に渡り、南極観測が続けられています。

Q1

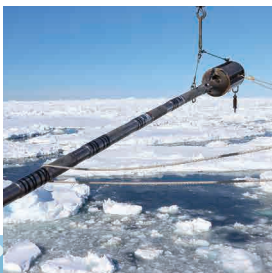
南極地域観測隊に参加することになった経緯を教えてください。

私はサンゴの研究者です。サンゴの研究者がなぜ南極と思われるかもしれませんが、南極にはたくさんのサンゴが暮らしています。私はそのような冷たい海や深海に生きるサンゴが専門ですので、研究を始めた時から南極でサンゴ研究するのが夢でした。私が参加した第61次南極地域観測隊では、南極の深海や沿岸の堆積物やそこに含まれる化石を使って、過去の南極の海洋環境を明らかにする計画となりました。日本近海で同様の手法を用いて研究していますので、幸運なことに共同研究者に声をかけていただき、この観測隊に参加させていただきました。

Q2

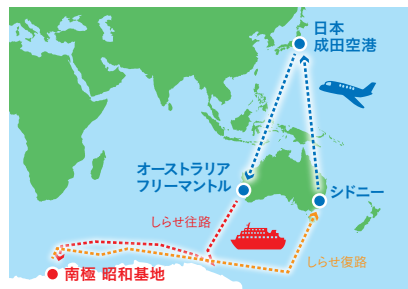
先生の南極での調査目的は何ですか。

海底の堆積物を採取すると、現在海底の表面に暮らす海洋生物とそれらが死んだあとに残った化石の両方を採集することができます。昭和基地のある東南極地域では、深い海の底にどのような生物がいるのかほとんど分かっていません。そこで、それらの試料を使って、どのような生物がそこに暮らしているのか、それらの化石を使って過去から現在までの南極の海洋環境の変化を明らかにしたいと考えています。



Q3

南極調査の期間とスケジュールを教えてください。また、日本からどのような経路で南極へ行ったのですか。



調査は11月27日から3月23日までの約4か月間です。南半球では夏の期間です。南極には氷の海を移動できる砕氷船しらせで行きました。しらせは東京の晴海埠頭を出発し、オーストラリアの西部にあるフリーマントルという港町に移動します。観測隊員は飛行機で成田空港からオーストラリアに移動し、フリーマントルからしらせに乗船しました。12月2日にしらせはフリーマントルを出発し、南下して南極大陸を目指しました。南極大陸に近づいてからは、進路を西に取り、昭和基地を目指します。海洋観測を行いながら、1月5日に昭和基地の近くに到着しました。私は、昭和基地には入らず、ヘリで昭和基地の南にあるラングホブデという場所に移動し、沿岸と湖沼の調査を開始しました。3週間のキャンプ生活を終えしらせに戻り、1月29日

に昭和基地を離れました。海洋調査をしながら3月19日にシドニーに到着し、シドニーから飛行機で日本に帰国しました。

Q4

観測隊の人数構成を教えてください。また、他にはどんな目的で調査に参加している人がいましたか。

第61次南極地域観測隊は、越冬隊29名、夏隊42名、越冬隊同行者1名、夏隊同行者16名の総勢88名で編成されています。観測隊は私のように南極の夏の期間だけ南極に滞在し、観測を行う夏隊と昭和基地で越冬を行う越冬隊の大きく2つの隊員が含まれます。観測隊は南極での観測を行う隊員だけでなく、昭和基地を維持管理したり、新たな建物を建てたりするため、建築や土木関係の方、電気工事の専門家、雪上車の修理やメンテナンスのための車会社の方、発電機の専門家など多くの技術者も参加していました。さらに南極では無線などの通信が非常に大事になるので、無線の専門家もいます。観測系では、大学や研究所の研究者と学生はもちろん、気象観測のため気象庁の職員や、重力観測や地図作成のため国土地理院の職員、海図作成や昭和基地周辺の潮位を観測のため海上保安庁の職員などさまざまな専門家が参加してい



職員、海図作成や昭和基地周辺の潮位の観測のため海上保安庁の職員などさまざまな専門家が参加してい

ました。また、観測隊に同行する、同行者という立場で、昭和基地から日本に向けて授業を行う高校教員や、南極で取材をする通信社・新聞社の記者も一緒に南極に行きました。

Q5 南極での生活は どのようなものでしたか。

しらせでは、海上自衛隊の給養員の方々が調理をしてくれて、全てのごはんをつくってくれます。ごはんは自分で食器に盛るピュッフェ形式でした。しらせの食事は、非常においしく、バリエーションも豊かで、煮物、ラーメン、刺身と和洋中なんでも食べられました。毎月、9日や19日など9のつく日はステーキが出るので非常に楽しみでした。たまにはジャンクフードも食べた



いなと思っていたら、しらせ特製ハンバーガーも出てうれしかったです。しらせの食事で一番印象的だったのが、毎週金曜日のカレーです。海上自衛隊伝統の自衛隊カレーで、毎週違うカレーが出てきて本当においしかったです。辛さも激辛カレーが別盛りで用意されていて、お好みで辛さを調整することができました。それよりびっくりしたのは、観測隊員の中に激辛好きの人が結構たくさんいて、自家製ハバネロソースをカレーにトッピングして食べる至高の辛いもの好き隊員がいたことですね。

3週間のキャンプ生活では、私が調理担当で、いろいろな料理を他の隊員に手伝ってもらいながら、作っていました。食材はしらせから分けてもらい、それをキャンプにもっていきます。しらせの食材は量・質とも最高で、肉から魚介類、野菜、レトルト食品、缶詰、お菓子などありとあらゆるものを提供いただきました。3週間分で大段ポール100箱分になりました。普段、家で食べられる料理はほぼ全てできるレベルです。米、肉、野菜、魚となんでもありました。食材は様々な種類の肉に、お刺身もたくさんありました。カツオのたたき、イカ刺しに、イクラに、しめさばに…。思い出ただけでよだれが出てきます。食材には生野菜もあります。玉ねぎやジャガイモは当たり前で、キャベツももらえました。キャベツは切り口に石灰が塗られた長期保存用でキャンプでは最後まで野菜をおいしく食べることができました。こんなにたくさんの方が、南極の夏の気温は0度前後なのでテントの外は天然冷蔵庫です。テントの外においておけば腐らず、ビールも冷え



冷えます。料理は、焼き肉に各種鍋料理、麻婆豆腐、生姜焼き、パスタ、カレーいろいろなを作りました。ご飯は圧力釜で炊いていたので、めっちゃうまでした。行く前は心配していましたが、キャンプ生活で食事に困ることがなく、本当に安心して過ごすことができました。幸せな日々でした。厳しいキャンプ生活で激やせすることを想定していたのですが、普段の生活よりも、毎日いいものをたくさん食べることができ、だいぶ太ってしまいました。キャンプ生活でごはんを食べられないかもしれないかもしれないと、しらせで食いだめしたのも仇となりました。



Q6 南極での必需品は何ですか。

しらせではインターネット以外はすべてのものがそろっているので、ほとんど日本での生活と変わらなかつたですね。しいて言うなら、限られた空間で長い時間同じメンバーで顔を合わせるので、コミュニケーション能力が重要です。



Q7 大変だったことは何ですか。

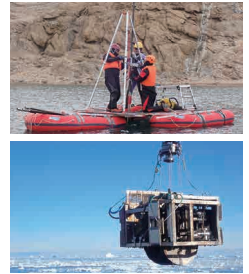
毎日楽しく過ごし、大変だったことはほとんどないですね。しいて言うなら、テント生活で、お風呂に入れなかったことですかね。髪が長かったので、限界になると、海で頭を水で洗っていました。周囲は海水だらけの0度の海水ですが…。後は、ネット環境がまったくなかったので、世界で起きていることが分からなかったことですね。最初は心配でしたが、慣れたらネットサーフィンしなくても平気になりました。普段、どれだけネットに依存しているかを認識しました。人間はネットがなくても生きていけます。



Q8 楽しかったことは何ですか。

やることなすこと、すべてが楽しかったですね。しらせの暮らしも、南極大陸でのキャンプ

生活も全てが楽しかったです。多くの方の協力で調査もうまくいき、海底から多くの堆積物をサンプリングできたこともよかったですね。



Q9 南極調査中 一番心に残ったことは何ですか。

南極大陸でキャンプをしていた時、周囲がほんとに静かだったのが印象的でした。音がするのは海の氷が壊れる音と、ペンギンの鳴き声ぐらいです。静寂とはこのことですね。それと同時に南極という本来人がいない場所に立っているという孤独と達成感を感じました。あと、南極大陸には大きな樹などの植物は生えることができないので、雪が解けた南極の地表は荒涼とした岩と砂が広がる、まるで火星のようでした。すぐにSF映画の撮影ができそうでした。観測隊に参加していた火星



の研究者も同じように言っていたので、あながち間違っていないようです。帰りのしらせで生まれてはじめてオーロラを見たのもうれしかったです。

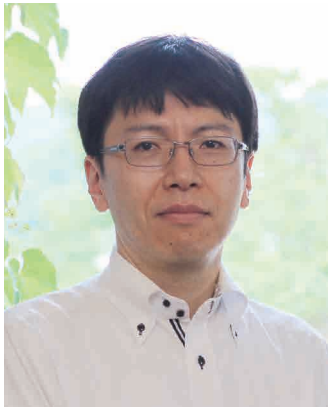
Q10 南極に行ったからこそ、 学生に伝えたいことはありますか。

我々は地球環境のことを、ほんの少ししか知りません。本で読んだ南極と、実際に行ってみた南極は全く違ったものでした。南極で過ごした日々は私の地球環境の見方を大きく変える経験になりました。世界は広いのです。だから、この世界は知らないことがあふれています。皆さんも身近なところから、環境に関する意識をもって、世界を考えるきっかけをつかんでくれればうれしいです。そして、皆さんもぜひ南極に行ってください。南極の研究を一緒にしてみませんか？





着 | 任 | 挨 | 拶 | 3名の教員が着任いたしました。



2020年7月に人間形成教育センターに着任いたしました。

本学では、データサイエンス関連の講義を担当いたします。多くのデータが身の回りに溢れる、いわゆるビッグデータの時代となり、データを活用したビジネスや政策立案が求められており、データを処理し分析するためのデータサイエンスの重要性が高まっています。私はこれまで、国家公務員として公的統計の作成に携わるとともに、スケジューリングなどの最適化問題の研究を行ってきました。こうした経験を踏まえ、データや数理を使って様々な問題・課題の解決に向けて、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。ちなみに、四国・愛媛出身ですが、首都圏に20年以上住んでいました。自然豊かで、海の幸・山の幸にも恵まれている鳥取での生活を非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

人間形成教育センター **久保 奨** 准教授



Three important areas of study in the world today are English, business and the environment. They will continue to be essential subjects in the coming decades. They are important for the physical and financial well-being of us all, and for the viability of our life on Earth. Most of the world's conferences, books and research papers on issues related to business and the environment are in English. Students who are currently studying business, the environment and English at TUES will be future business leaders, CEOs and environmentalists. Students at TUES can become leaders in their field of study and will be able to communicate in English. Japan has world-beating ideas and technologies in business and the environment that are copied all over the world. Through English, the students at TUES will help to further Japan's role as a global pioneer and leader. Many students at TUES have already started their journey by collaborating with students at universities in Germany. They are interviewing businesses for their research projects into sustainability. Their efforts will improve our world.

人間形成教育センター **バンヴィル ショーン** 特任准教授



2020年4月に着任致しました。偏微分方程式論を専門としており、またロボット工学に現れる力学系の解析も行っています。本学では情報リテラシ1、微分積分学、線形代数学の講義を担当します。

昨今はデータサイエンス、AIが流行っており、最近では微分方程式をそれらに応用するなど様々な発展を見せています。また、それらに関する産学連携の研究も盛んに行われていることもあり、それらの理解のために数理的能力をもつ人材が求められています。本学は2021年度から副専攻プログラムとしてそれらに対応するものが編成される予定であり、国立大学間の事業である「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」の連携校にも承認されました。これらを通し学生のみなさんが社会で活躍できる人材になるお手伝いをしたいと考えています。

人間形成教育センター **小杉 卓裕** 講師



生態系の基盤をなす植物たちの世界 鳥取の豊かな自然環境をフィールドに 多様な生物間相互作用を解き明かす

植物と昆虫の関係から 生物多様性の仕組みを考える

植物は昆虫に蜜を提供する代わりに花粉を運んでもらいます。良好なパートナーシップを結んでいるように見える両者でも、実はその関係はたいへん複雑で、植物はさまざまな戦略によって昆虫の行動を制御し、一方の昆虫は少しでも効率よく植物を利用しようとします。例えば、本当の雄しべとは別に花粉のない偽の雄しべを作り、その色を派手にすることによってハナバチを引き寄せ、植物がいかんと思えば、花の奥深くに蜜を分泌する植物に



▲花蜜を花の奥に分泌するトキワイカリソウ

対し、外側から穴を開けて蜜を盗み取ってしまうハチもいます。このような植物と昆虫の多様な相互作用を研究することは、生物多様性を理解するために非常に重要です。

大山や鳥取砂丘をフィールドに 自然界の謎解きにチャレンジ

野生動植物の研究をする上で、大山のような山岳から鳥取砂丘のような海浜まで、多様な環境に恵まれた鳥取はとても魅力的なフィールドです。図



▲ツリフネソウの花に穴を開けて蜜を盗むクマバチ

鑑を持ってフィールドに出かけ、地道に植物や昆虫の種名を覚えていくと、自然を見る目が大きく変わります。私の研究室に所属する学生は、大山や鳥取砂丘はもちろん、他県の山岳でも精力的に調査に取り組んでおり、着実にスキルアップしています。いろいろな工夫をしながら調査や実験をし、たくさんの失敗や空振りを繰り返すうちに、植物と昆虫の間にある驚くような相互作用を解き明かすことができるはずで



▲大山で植物生態調査の実習



環境学部

Tetsuya Kasagi

笠木 哲也 准教授

時代の変わり目は 研究を始めるチャンスです

専門家に予測できない事態が起きたとき

私が大学に入学したのは1989年、すでに地球環境問題は大学入試の頻出事項になっていましたが、入学してみると文系科目の関連授業は問題が新しすぎて学内の先生には担当できず、新聞編集委員が非常勤で教えていました。また、同年6月の中国での天安門事件や、同年秋の東欧革命による冷戦終結など、専門家たちも事前に予測できなかった事態が相次ぎました。中国や国際関係論を研究する先生たちの途方に暮れた表情は「今



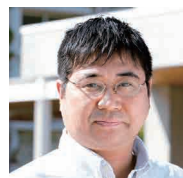
▲2002年末から2003年にかけてのSARS終息後、体を鍛えるのが感染症対策になるという趣旨で中国各地にできた、成人用の体操用器械。
(2005年11月、中国河南省の田舎町)

から頑張れば同じ土俵で勝負できるかも」と錯覚するの十分でした。

もちろん、相手はプロですから、学生の錯覚よりも早く立ち直っただけではなく、その過程で歴史を参照せよという教訓を示し、後年それを著作にまとめた先生もいました。また、学生のみならず社会からも要請がある、と判断されれば、数年後には欠けていた分野の専門家も——上記の新聞編集委員も含め——専任教員として大学に加えられました。ただ、錯覚の方も私1人だけではなかったよう



▲2013年早春に深刻化したPM2.5をはじめとする大気汚染で、北京では、それまで珍しかったマスク姿が急増。コンビニでも当然のように売っていた。
(2013年2月、中国北京市)



経営学部

Yasushi Aikawa

相川 泰 准教授

で、きちんと調べてはいませんが、研究会や学会で、私と近い世代の、文系の環境研究者も、中国研究者も、国際関係研究者も、前後の世代より多いと実感しています。私の研究の中心は中国の環境問題についてで、その専門家といえる人は日本にそう多数はいないものの、その半数あまりは私と数年しか年齢の差がありません。

新しい事態は 過去そのままの再現ではない

新しい事態に対して専門家の立ち直りが意外と早かったのは、歴史の参照、つまり、一見、新しく見えることも時間軸を長くすると実は意外と人間社会に経験がある、ということに加え、人生経験の長さの力もあったでしょう。とはいえ、やはり新しい事態は過去そのままの再現ではありません。もちろん、今この話をするのは、新型コロナウイルス問題が起きたからで、今度はこちらも専門家として、学生の皆さんから「同じ土俵の勝負」を挑まれる覚悟をしています。

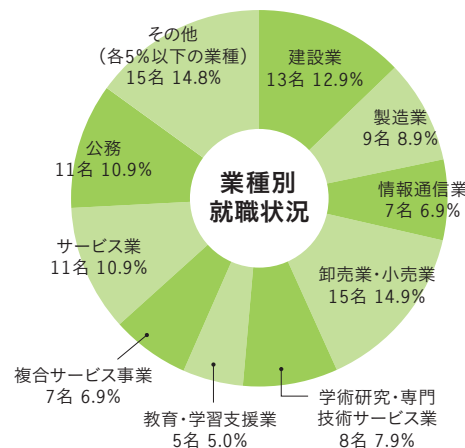
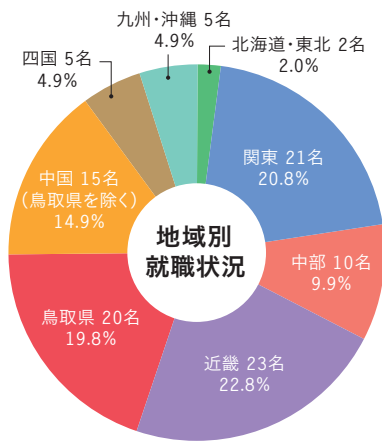


2020年3月卒業生の就職・進学先一覧を掲載しています。
 きめ細かな就職サポートの結果、就職内定率は全体で98.7%となりました。

環境学部 就職・進学先一覧

【公務員】農林水産省(水産庁)、福井県(農林業)、鳥取県(林業)、八幡浜市(土木)、吉備中央町、南九州市、南大東村、岡山県警察、陸上自衛隊 【教員】鳥取県、高知県、沖縄県 【大学院進学】鳥取大学、高知大学、公立鳥取環境大学 【一般企業】〈農業・林業〉ひよこカンパニー、ファロスファーム〈建設業〉朝日工業社、イマックス、エスバイエス、鳳工業、カナツ技建工業、白月工業、造園土木植清園鳥取営業所、トーエネック、中林建設、メタウォーター、米子ガス産業、ライフデザイン・カバヤ〈製造業〉アサヒホールディングス、出雲村田製作所、大谷酒造、尾池工業、児湯食鳥、中国木材、富士インパルス、フジクリーン工業、マルサンアイ鳥取〈電気・ガス・熱供給・水道業〉アイテック〈情報通信業〉アクシス、ケーイーシー、システム・エゴリューション、第一コンピュータリソース、日本ラッド、プロビズモ、LASSIC〈卸売業・小売業〉アロージャパン、イズミ、井上カーグウド、ゴダイ、コンドーテック、東京ガスリックリビング、津田産業、日興商会鳥取印刷工場、ネクストエナジー・アンド・リソース、平田ナーセリー、藤原産業、ミツワフロンテック、矢崎総業、米澤自転車店、ロック・フィールド〈金融業・保険業〉栃木銀行〈不動産業・物品賃貸業〉エイブル、福屋ホールディングス、ほくしん〈学術研究・専門・技術サービス〉インベックスエンジニアリング、計測技研、森林研究、整備機構森林整備センター、西部技術コンサルタント、大同コンサルタンツ、中央開発、西谷技術コンサルタント、日本インフラマネジメント〈宿泊業・飲食サービス業〉知床グランドホテル、帝国ホテル〈生活関連サービス業・娯楽業〉平和観光、ラヴィール岡山〈教育・学習支援業〉育てる会、自由学園女子部中等科〈医療・福祉〉鳥取県保健事業団、日の出医療福祉グループ〈複合サービス事業〉全国森林組合連合会、全国農業協同組合連合会青森県本部、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、鳥取いなば農業協同組合、日南町森林組合〈サービス業〉イージーエス、エイジェック、衛生センター、愛媛総合警備保障、クリタス、サーバー技研、大栄環境、東洋ビルメンテナンス、鳥取市環境事業公社、日本保健衛生協会、ヘルクリック、明輝クリナー

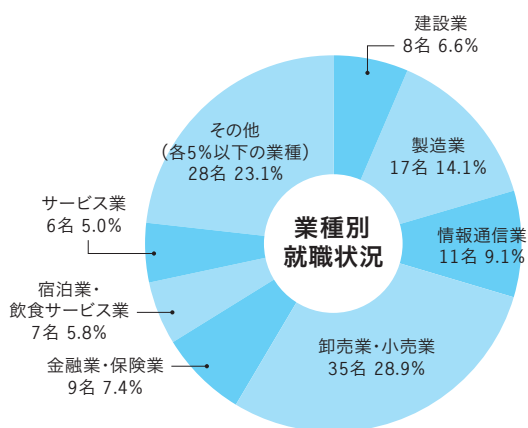
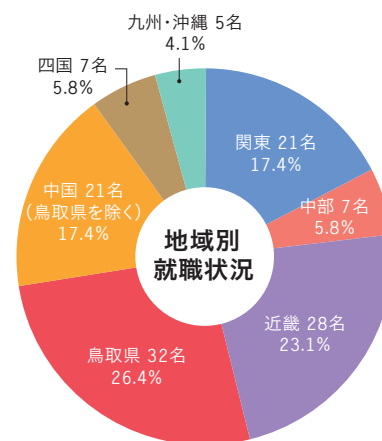
※企業名は業種別50音順/株式会社等省略/2019年度卒業生実績



経営学部 就職・進学先一覧

【公務員】美作市、東かがわ市、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、防衛省自衛隊 【一般企業】〈建設業〉ウッズカンパニー、エナテクス、白石建設工業、松栄バナホーム熊本、住友林業山陰営業所、高垣工務店、ヤマタホールディングス、米子ガス産業 〈製造業〉あわしま堂、出雲村田製作所、イナテック鳥取、大阪銘板、オージー技研、化繊ノズル製作所、川西水道機器、グローバル、SUNYOU、スーツレポリューション、大松精機、滝澤鉄工所、デービー精工、藤井電工、濱中製鎖工業、フジナガ、武蔵野、ロンタイ、山崎製パン〈情報通信業〉アイソック、アクシス、共同コンピュータ、コベルコソフトサービス、コンピューターエンゼルス、システムズナカシマ、新日本海新聞社、テクノ・セブン、ノバシステム、フィクシー〈運輸業・郵便業〉サンヨー航空サービス、西日本旅客鉄道、日本郵便、福山通運〈卸売業・小売業〉アイ・ティー・エックス (auショップ鳥取湖山)、アルファ、イオンリテール、伊丹産業、エパルス、小野ホンダ販売、ガスバル中国、グッディ、ケアオウエイ、コスモス薬品、坂本産業、山陰酸素工業、シブス、スギ薬局、大洋製器工業、田中商事、ティーエスアルフレッサ、テレポート、つくも薬局、ナフコ、日本機材、萩原、パナソニックコンシューマーマーケティング、藤徳物産、ベンハウス、ホリタ、ホンダカーズ鳥取、ホンダ山陰中央、八幡物産、ユニマツライフ、四電ビジネス、RESTA、レッドパロン〈金融業・保険業〉エヌケーシー、四国銀行、鳥根中央信用金庫、中銀証券、中国銀行、中国労働金庫、鳥取銀行、鳥取信用金庫、名古屋市信用保証協会、米子信用金庫〈不動産業・物品賃貸業〉ウィードメディカル、ケイアイスター不動産、ゲオホールディングス、トヨタレンタリース岡山、西尾レントオール〈学術研究・専門・技術サービス〉エクス・プラン、STUDIO ARC、ベリサーブ、三宅会計〈宿泊業・飲食サービス業〉ALL FARM、くら寿司、グリーンホテル・ズコーポレーション(グリーンリッチホテル鳥取駅前)、三晃商事、真紅、Trees、トーカイ、東急リゾートサービス〈生活関連サービス業・娯楽業〉クリエイティブサポート、三永、ルビー〈医療・福祉〉鳥取県厚生事業団、兵庫県国民健康保険団体連合会〈複合サービス事業〉全国農業協同組合連合会鳥取県本部、多良木ブレカット協同組合熊本工場〈サービス業〉アサンテ、三光、JCBエクス、JPTツーウェイコンタクト鳥取プロスベリティセンター、ジャパンクワイエット、メンテックカンザイ

※企業名は業種別50音順/株式会社等省略/2019年度卒業生実績





国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な学生交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。

※本年度は新型コロナウイルスの影響で一部プログラムの実施はありません。

プログラム紹介

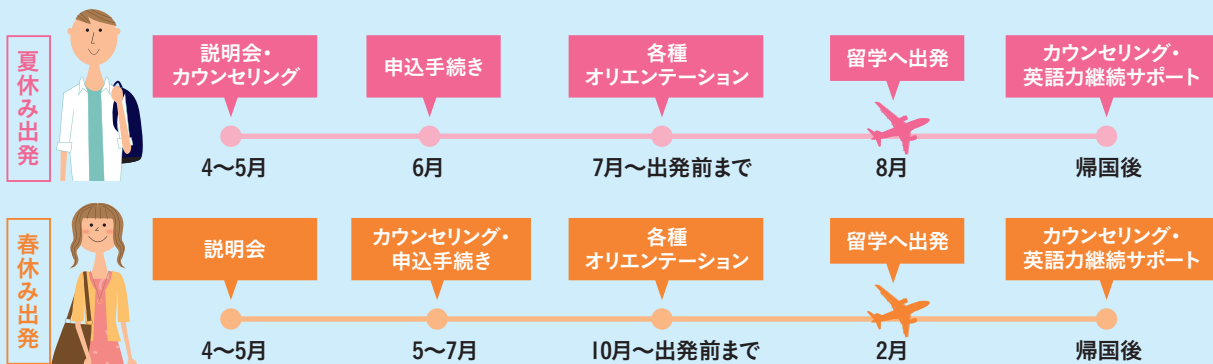


語学留学プログラムに参加するには？

今回は、本学の語学留学プログラムへ参加する場合の一般的なスケジュールや準備について紹介します。

誰でも参加できるプログラム

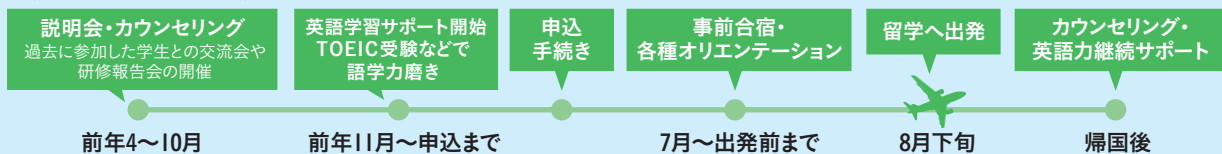
【英語レベル 初級～上級】 夏休み(アメリカ) / 春休み(オーストラリア・カナダ・NZ・マレーシア)



CEFR・B1以上で参加できるプログラム

【英語レベル 中級～】 (ドイツ)

\\ 経験者の声を聞けます! //



留学サポート内容

- 個別カウンセリング(出発前・帰国後)
- 留学中のケア
- 各種手続き(申込・航空券手配等)
- 英語学習相談(留学準備期間～帰国後の継続) など
- 各種オリエンテーション(危機管理など)

出発前～帰国後まで丸ごとサポート!



まずはご相談ください!

国際交流センター 堀田 悦子

JAOS※認定留学カウンセラーが、留学支援に長く携わった豊富な経験を活かし、出発前から渡航後まで全面サポートします!

後々の人生の財産となるかけがえのない留学経験が出来るよう、学生一人一人に寄り添ったサポートを心がけています。「こんな時はどうしよう?」「海外に出るのは初めてで不安...」等どんなことでも、いつでも気軽に相談してください。

※一般社団法人海外留学協議会



TUES FUTSAL CLUB

私たちTUES FUTSAL CLUBは主に週に2回、大学の体育館で活動をしています。FUTSAL CLUBは現在、大勢の部員が在籍しており、過去にサッカーをやったことがある人、運動がしたい人など様々な人がいて、いつもみんなで楽しくフットサルをしています。フットサルを楽しむだけでなく、フットサルを通してたくさんの人と繋がり、大学生活をより充実したものにします。そんな部活です。

そして、昨年度からは大会に参加することになり、他チームとの試合を行うようになりました。しかし、昨年度は慣れないところが多く、良い結果を残すことができませんでした。

今年度は昨年の経験を活かし、良い成績を残せるようにチームみんなで協力して頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

代表：東 将平（環境学部 3年）



まちあそび部

私たちまちあそび部は、2016年に創部された「起業部」の意志を継ぎ、2020年にリニューアルし、「遊びの質でぶっちぎれ!」をコンセプトに鳥取を舞台に大学生にしかできない「あそび」をやっている部活です。

活動内容は特に決まっていません!というのも、部員たちが相談しあい、やりたいと思った活動を全員で団結してやっているからです。例えば、地域のイベントに模擬店を出店したり、新入生に向け交流会を開いたり、部員全員で球技大会をしたり、卒にとらわれない幅広い活動をしています。

まちあそび部は今年から心機一転、活動を頑張っています。今後の目標としては、鳥取県中に名を響かせ、公立鳥取環境大学を代表する部活になることです。ぜひまちあそび部の名前を覚えていただくと共に、応援のほどよろしくお願いします。

代表：米岡 駿裕（経営学部 2年）

新型コロナウイルス感染症に 関連する本学の対応

3月20日 学位授与式の開催中止。

（学部、ゼミ毎に学位記の交付を行いました。）

4月4日 入学式の開催中止。

授業開始日を5月11日に延期し、オンライン授業を実施していましたが、6月15日より感染拡大防止に留意し、段階的に対面授業を開始しています。

10月17日・18日 環謝祭の開催中止。

情報メディアセンター、英語村、まちなかキャンパスの一般利用者の利用停止。本学施設の一部利用停止。

新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援策として学生支援寄附金を開設。

募集期間：令和2年6月19日～令和3年3月31日

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、今後対応が変わる可能性があります。
最新情報は大学ホームページを確認してください。

本学学生へたくさんの 支援をいただいております

新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト収入が減ったなど、経済的な不安を抱えている学生に対して多くの支援をいただいております。

【6月22日】鳥取県東伯郡三朝町泉の里生産組合様より

「新型コロナに負けないで、有意義な学生生活を送ってください」とメッセージが付された1kgのコシヒカリ100袋のご寄附。

【7月7日】鳥取県東伯郡琴浦町の宝製菓様より

同社製造のお菓子1,000箱のご寄附。

【7月15日】鳥取市鹿野町の光輪寺様より

お米、野菜、即席麺、レトルト食品など多くの食料品のご寄附。

【7月27日】鳥取県岩美郡岩美町の大谷生産組合様より

きぬむすめ150kgのご寄附。

ほかにも、近隣の方をはじめ多方面から、寄附金、食料品、マスクなど様々な形で学生に対する支援をいただいております。寄附いただいた多くの品々は、学生会を通じて学生に配布しています。寄附そしてご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。



▲寄附いただいたメッセージ付きのお米(泉の里生産組合様)



▲寄附いただいたお菓子(宝製菓(株)様)



▲寄附いただいた食料品(光輪寺様)



プロジェクト名

不法投棄「事件」を検証する

プラスチックごみによる海洋汚染の問題が社会的に大きな注目を浴びています。今、社会における「廃棄物管理」のあり方が問われています。「不法投棄」のような不適正処理を撲滅していくことが重要です。このプロジェクト研究では不法投棄対策を学ぶために、過去の不法投棄事件を調べ、その判例について理解を深め、なぜ不法投棄事件が起きたのかを皆で議論しました。

また、不法投棄をなくすための方策についても意見を出し合いました。不法投棄とは、廃棄物処理法第16条「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない。」という規定に違反する行為です。法律にはたったこれだけしか書いてありません。不法投棄が成立するためには3つの要件「廃棄物」、「みだりに」、「捨てる」を満たす必要があります。1つのグループは「廃棄物」とは何かについて争われた「おから事件」を調べ、2つのグループは「みだりに」、「捨てる」について争点となった事件を調べ、最後のグループは、リサイクルが不法投棄の偽装に利用された事件を調べました。

また、鳥取市の不法投棄パトロールに参加し、実際に不法投棄現場を視察しました。そして不法投棄が多い場所を1カ所選び、不法投棄防止看板を作ることを企画し、皆でデザインを考えました。一般的な不法投棄防止の看板とは違って若い柔軟な頭で考えるとかなりユニークなアイデアが出ました。このアイデアを元に最終的に鳥取市で制作してもらったのが写真1です。どうでしょうか？ちょっとゾッとするデザインになりましたね。実際に設置すると不法投棄が劇的に減ったと喜んでいただいています。プロジェクト研究の成果は、鳥取市の廃棄物行政の担当部局の方に報告し、不法投棄対策の提案も行いました。



▲ 写真1 不法投棄防止看板

学生が自分たちで考えたアイデアに対し、実際に廃棄物行政を担っている職員の方から様々な意見を頂き、また議論をすることができました。大学の中で学術的な勉強をするだけでなく、実際に現場が抱えている課題と結びつけることで、実践的な知識を身に付けることができたのではないのでしょうか。



▲ 写真2 鳥取市への報告の様子

プロジェクトアドバイザー 環境学部 門木 秀幸 講師

プロジェクトメンバー プロジェクト研究2

〈環境学部〉大久保 頼人、沼尾 和美、濱田 創史、李 テイ
 〈経営学部〉李 清和、中塚 亮吾、濱本 雅、横井 蓮、渡部 恵悟

プロジェクト研究4

〈環境学部〉岡田 翔磨、小猿 愛美、坂本 すみれ、嶋田 ひより、
 筒井 太一
 〈経営学部〉池田 耀平、岡野 由佳、立石 拓也、玉越 彩矢

※今回ご紹介したプロジェクト研究は2019年度後期に実施したものです。

海岸漂着ごみ調査及び
海岸清掃活動を行いました

本学の環境学部1年生は、毎年「環境学フィールド演習」の一環として、世界ジオパークにも認定され、国立公園でもある浦富海岸の鴨ヶ磯で漂着ごみ調査及び海岸清掃活動を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策(参加者全員に事前健康チェックシートの記録・提出、マスク着用義務、バス移動時の1台当たりの乗車人数を半分以下にする等)を充分に行ったうえで6月2日に実施しました。

また、3密をできる限り避けるために、今年は鴨ヶ磯の他に、城原海岸も活動対象地とし、2か所に分散して活動を行いました。

まず、本学の教員から学生たちに国立公園の保護と利用とのバランス確保の重要性について、また、海洋漂流ごみや海岸漂着ごみの現状と課題について説明がありました。その後、学生たちは互いの距離をできるだけ確保しながら海岸全域に分散して、漂着ごみの起源・性状・特徴やマイクロプラスチックを調査した後、回収作業を行いました。回収物は岩美町の分別方法に従って指定袋に入れた上で、海岸から長らく続く階段を上って道路まで運搬しました。

今回の活動を通じて学生たちは、自然の景観だけではなく、海の生態系を守るため漂着ごみの回収作業がもたらす効果や海ごみを発生させないための方策についても考えることができました。



▲ 漂着ごみの回収作業(城原海岸)



▲ 漂着ごみの回収作業(鴨ヶ磯)



▲ マイクロプラスチック調査(鴨ヶ磯)

一般社団法人生命保険協会と 寄附講義に関する覚書の 締結を行いました

6月23日、本学(学長 江崎信芳)と一般社団法人生命保険協会(代表理事・副会長 小林研一 氏)は、今年度後期から開設する寄附講義の運営に関して覚書を締結しました。

寄附講義の目的は、人生100年時代という超長寿社会を迎え、生活環境や働き方、生き方が多様化していく中で、生命保険等の役割について理解を深めようとするものです。生命保険だけでなく幅広く金融・社会保障等の制度の現状を学び、課題解決に向けて考える姿勢を醸成します。

生命保険協会が全国23大学と連携して開講する寄附講義の一つとなります。経営学部だけでなく、環境学部の学生も保険、金融について知り、どう生きていくか学ぶ機会となることを期待しています。



▲ 覚書を締結する江崎学長(左)と小林氏(右)

環境学部徳田悠希講師が 平井伸治鳥取県知事へ 第61次南極地域観測隊の 帰還報告を行いました

7月17日に小林朋道環境学部長と徳田悠希講師が平井伸治鳥取県知事へ第61

次南極地域観測隊夏隊重点研究観測の帰還報告をしました。

徳田講師はサンゴの研究と地球環境の研究の関連性について平井知事に説明し、観測から新たな知見が得られる可能性を報告しました。また、小林学部長からは徳田講師のサンゴ研究における世界的な発見についても紹介されました。

平井知事からはお得意の「ダジャレ」も飛び出すなど、和やかな雰囲気の中で報告が行われました。

最後に平井知事から徳田講師に、研究が大いに進展することを期待しているとの激励の言葉をいただきました。



▲ 試料の説明をする徳田講師(右)



▲ 記念撮影の様子 平井鳥取県知事(左) 徳田講師(中央)・小林環境学部長(右)

本学食堂で学生の食事費用の 一部支援を行いました

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で収入減少となり、経済的に困難な状況にある学生に対して、学内外から寄附いただいた新型コロナウイルス感染症に係る学生支援寄附金(※)を財源に、7月20日から9月4日までの前期授業期間、学生食堂における食事に係る費用の一部支援を行いました。本学の学生を対象に食堂の300円以上の食事に対し、200円の補助割引を行うという支援内容です。

支援を利用した学生からは、「この支援が

開始されてから毎日利用しており、経済的に助かっています。」という声がありました。

寄附いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

※新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援策に使用する目的で募集しており、現在までに学内外から多くのご支援をいただいています。寄附金についての詳細は下記本学Webページをご確認ください。
www.kankyō-u.ac.jp/news/2020/20200619001/



▲ 支援を利用する学生

本学の公式YouTube チャンネルを開設しました

8月11日、公立鳥取環境大学公式YouTubeチャンネルを開設しました。現在、下記の動画などを公開しておりますので、ぜひご覧ください。今後も、本学の教育・研究内容などに関するコンテンツを増やしていきます。



▲ キャンパスツアーVR動画
360度カメラを使用し、キャンパス内を紹介します。



▲ 環境学部紹介動画 環境学部の学びについて紹介します。
▲ 経営学部紹介動画 経営学部の学びについて紹介します。

下記URLよりご覧いただけます。
www.youtube.com/channel/UCclvYUH3dsAEItTkxn_8u9w



詳しくは各お問い合わせ先へご連絡ください

公開講座



公開講座 2020

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。ぜひ、ご参加ください(要事前申込)。講座動画の配信もあります。

内容や日程等は、本学Webページをご覧ください。



www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/

QRコード

お問い合わせ 研究交流推進課

TEL 0857-38-6704

E-mail event@kankyo-u.ac.jp

公立鳥取環境大学 公式YouTubeチャンネル開設のお知らせ



2020年8月より、動画コンテンツ共有サイト「You Tube」に、本学の公式チャンネルを開設しました。今後、本学の教育・研究内容などに関するコンテンツを順次増やしていきますのでどうぞお楽しみに!



www.youtube.com/channel/UCclvYUH3dsAEitTkn_8u9w

QRコード

お問い合わせ 入試広報課

TEL 0857-38-6720

E-mail nyushi@kankyo-u.ac.jp

主なスケジュール(2020年9月から2021年3月まで)

8/31~9/4	前期試験	学務課
9/7~9/8	前期追試験	学務課
9/15	3年次編入学(環境)・大学院入試(1期)	入試広報課
9/23~9/25	後期ガイダンス	学務課
9/23~9/25	履修登録期間	学務課
9/28~10/9	履修科目変更期間	学務課
10/24~10/25	総合型選抜	入試広報課
11/21~11/23	学校推薦型選抜(III型)	入試広報課
11/28~11/29	学校推薦型選抜(I型)	入試広報課
12/29~1/3	事務取扱休業	総務課
1/7	月曜日の授業	学務課
1/15	大学入学共通テスト前日準備(全日休講)	入試広報課
1/16~1/17	大学入学共通テスト(学内立入禁止)	入試広報課
1/21	プロジェクト研究発表会	学務課
2/1~2/5	後期試験	学務課
2/7	学校推薦型選抜(II型)	入試広報課
2/8	私費外国人留学生選抜	入試広報課
2/8~2/12	後期追試験	学務課
2/9	3年次編入学(経営)・大学院入試(2期)	入試広報課
2/18	海外帰国生徒・社会人特別選抜	入試広報課
2/25	一般選抜前期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/13	一般選抜後期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/19	学位授与式	総務課

※10/17~10/18に開催予定だった第20回環謝祭は中止となりました。

※新型コロナウイルスの影響により、今後スケジュールを変更する可能性があります。変更があった場合は本学ホームページに掲載します。



「公立鳥取環境大学の今」を発信!

TwitterやFacebookページなどで公立鳥取環境大学の最新情報を発信しています。パンフレットや公式ホームページでは紹介しきれないニュースや出来事など「公立鳥取環境大学の今」を発信しています。



ソーシャルメディア公式アカウント一覧

www.kankyo-u.ac.jp/about/social_m/